

学校番号	10	学校名	静岡北特別支援学校南の丘分校	校長名	原田 満紀
------	----	-----	----------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
専門性	各教科のめざす姿を明確にした教育課程再編	<ul style="list-style-type: none"> <li>他学年との指導の系統性や教科等横断的な視点で年間指導計画の反省・改善ができたと答える教員 85%以上</li> <li>個別の諸計画等における目標設定や振り返りで、自分の成果や課題、次の目標が明確になったと答える生徒 80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A（できた）、42%、B（おおむねできた）58%</li> <li>AB合計 100%</li> <li>「はい」86%</li> <li>「いいえ」2%</li> <li>「わからない」12%</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>他学年との系統性、他教科等との横断的な視点で指導・支援の在り方を考えながら授業の実践ができた。今後も教科等横断的な視点で単元の構成や単元配列を見直していく。</li> <li>生徒自身が目標を設定、学習した後、振り返りを行うことで次の目標設定ができていたと考える。今後、「個別の教育支援計画」が、教育活動の中で生徒のサポートツールとなっているか検証していく。</li> </ul>
	「学び、考え、発信し合う」姿を引き出す授業の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分のことを知り、受け止め、行動につなげることができた生徒 100%</li> <li>自立活動の生徒一人一人の目標を学年で共通理解し、指導ができたと答える教員 85%以上</li> <li>授業研究、SUT、研修会で学んだ知識や技術を活用して、授業をした教員 95%以上</li> <li>ICTを活用した授業、またはNIE活動を含めた授業を行った教員 100%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「はい」69%</li> <li>「いいえ」2%</li> <li>「わからない」29%</li> <li>A：26%</li> <li>B：58%</li> <li>AB合計 84%</li> <li>A：37%</li> <li>B：58%</li> <li>AB合計 95%</li> <li>A：58%</li> <li>B：32%</li> <li>AB合計 90%</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分のよさや課題、職場実習の評価を受け止め、生活目標を立てることができた生徒は多いが、行動に結びつけられたかどうか、自信がないという生徒も多いと感じる。</li> <li>生徒の実態に合わせた授業の組み立て、教材選びができた。課題としては、学習グループを柔軟に変化させていくこと、指導方法の充実が挙げられた。</li> <li>生徒の実態把握の仕方、授業づくりの研修を充実させることができた。評価について研修していく。</li> <li>NIE活動は継続しつつ、BYOD化に向けてICT活用のための研修を深めていく。</li> </ul>
	業務のスリム化と教職員の時間への意識向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>協議内容を絞り、会議を計画的に進め、時間内に終了できたと答える教員 80%</li> <li>交通事故事犯 0件</li> <li>セクハラ、パワハラ 0件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A：16%</li> <li>B：53%</li> <li>AB合計 69%</li> <li>交通事故事犯 1件</li> <li>セクハラ、パワハラ 0件</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度異動してきた先生方の評価が低かった。雑談での情報共有する機会を大切にし、会議には、先に資料を読んで参加するなどの改善が必要。</li> <li>生徒自転車での加害事故1件 1年生の交通指導を保護者と共に行っていく。</li> <li>セクハラ、パワハラ 0件</li> </ul>

様式第3号

安全・安心	<p><b>自分の安全と健康を守る習慣と環境づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導における学校としての方針が分かり、人権を尊重した適切な支援・指導ができた教員 100%</li> <li>・自他の命の大切さを理解し、心や体の健康づくりのために行動ができたとする生徒 90%以上</li> <li>・生徒の実態に合わせた心身の健康に関する授業や指導ができた教員 90%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A:58% B:42% AB合計 100%</li> <li>・「はい」44% 「いいえ」21% 「わからない」35%</li> <li>・A:58% B:42% AB合計 100%</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・めざす生徒像を「自他の良さを認め、生き生きと働くひと」とし、授業や日常生活において、意識した教員が多かったと感じる。</li> <li>・自分を大切にし、相手も大切にするという意識が生徒にも多くみられた。ただ、心や体の健康づくりのために行動したと自信をもって言えない生徒が多くいた。</li> <li>・保健の授業だけでなく、日常生活でも生徒の心身の健康に関する情報を共有し、指導できたと考える。</li> </ul>
	<p>分校の存在感の発信と地域活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流活動により、感想を伝えることができたと答えた生徒 85%以上</li> <li>・学校の様子がよく分かったという保護者、参観者 100%</li> <li>・学校公開が進路を考える上で役に立ったと答える参加者 80%以上</li> <li>・行事や交流活動等、学習の様子をホームページに更新した。各学年 学期に1回以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「はい」61% 「いいえ」19% 「わからない」20%</li> <li>・「分かった、おおよそ分かった」と回答した保護者 92%、参観者 98%</li> <li>・「役に立った、おおよそ役に立った」と回答した生徒 97%、保護者 100%</li> <li>・各学年1回以降ホームページに掲載</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生や園児、近隣施設での活動は、駿河総合高等学校との交流よりも自信をもって発言できる生徒が多い。高校生同士では、駿河総合高等学校の生徒との違いを感じる生徒もおり、共生共育となる交流の工夫が必要と感じる。</li> <li>・多くの保護者が学校の様子がよく分かったとしながらも、3年時の進路に関するところは丁寧に対応していく必要がある。</li> <li>・学校公開で様子を知ることができたとする参観者が多い。今後も続けていく。</li> <li>・教員のホームページ掲載に対する抵抗感が低くなったと感じる。技術アップは必要。</li> </ul>
連携	<p><b>進路希望実現に向け、本人が納得して進む進路指導</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業や職場実習を関連付けながら生徒の学びを深め、生徒が自己選択、自己決定できたと答える教員 90%以上</li> <li>・担任との相談を含め、進路について自己選択できたと答えた生徒 90%以上</li> <li>・必要な情報を得ることができ、学校と個別の教育支援計画を活用し、連携できたと答える保護者 90%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A:48% B:47% AB合計 95%</li> <li>・「はい」96% 「いいえ」0% 「わからない」4%</li> <li>・A:48% B:50% AB合計 98%</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒自身、課題の振り返りができ、次の目標設定ができた。課題としては、生徒が進路希望先の志望動機を表現できないということが挙げられる。</li> <li>・生徒の相談をすぐ解決しなければという教員の意識がある。重大な事案はすぐに対応する必要があるが、生徒の悩みに対して、傾聴の姿勢で、生徒が答えを出せるよう見守ることも必要。</li> <li>・連絡帳での日々の情報共有は有効と考える。</li> </ul>

A：十分目標を達成することができた

B：おおむね目標を達成することができた

C：あまり目標を達成することができなかった

D：ほとんど目標を達成することができなかった